

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を健やかに迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、平素より、町政各般にわたりご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

一昨年、昨年と新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、私たちの生活は一変いたしました。町民の皆様にも緊張感の中での生活が続き、大変な毎日を過ごされたことと思います。コロナ禍において、感染拡大防止に対し町民の皆様、事業者の方々のご理解・ご協力、そして、教育現場や医療介護福祉施設等の関係者のご努力・ご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

本町では、新型コロナワクチン接種を希望された方の2回目接種は、ほぼ完了しておりますが、引き続き受付は行っております。

また、現在3回目接種への取組も進めておりますので、町民の皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。

この長期にわたる、コロナ禍での活動が制限された中、人と人とのつながりや交流、地域での活動、子どもたちの学校行事、心を豊かに育んでくれる文化芸術活動などの機会が、大幅に少なくなってしまいました。

私は、コロナ禍により薄れてきている人と人とのつながりや交流などを、元の状況に戻し、地域の活性化、産業・経済など様々な分野の発展のため全力で取組んでまいりたいと考えております。

しかしながら、本町をはじめ多くの自治体が人口減少や少子高齢化の進展、複雑多様化する住民ニーズへの対応、自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進や環境問題、更には財政難といった大きな課題に直面しており、今後も引き続き、持続可能な行財政運営を確立するためには、戦略的な未来への投資が必要であり、人材育成、行財政運営の更なるレベルアップが必要不可欠であると考えます。

今こそ地方自治の原点に立ち返って町民の皆さまが抱く希望や要望、ご意見を気楽に持ち寄り、全世代が主人公として共通意識を持てる工夫と仕掛けを考察し、実行してまいりたいと考えております。

新たな年を迎えるにあたり、これら課題への取組と、地域に密着した事業を中心に、勇気と真心を持って、皆さまと共に歴史と伝統ある大島郡の繁栄と発展を目指し、全力で町政を運営してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和4年が町民の皆さまにとりまして最良の年となりますことを心から祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

周防大島町長 藤本 淨孝